

# 佐賀県産業イノベーションセンター 支援成果事例集

2023年

15 成果

事例紹介



公益財団法人 佐賀県産業振興機構

佐賀県産業イノベーションセンター

## 創刊にあたって

この度、「佐賀県産業イノベーションセンター支援成果事例集」を創刊するはこびとなりました。

佐賀県産業イノベーションセンターは、公益財団法人佐賀県産業振興機構の一部門として、県内中小企業の生産性向上や、新製品開発、販路開拓、スタートアップ支援などの様々な活動を行っている中小企業支援機関です。

県内中小企業の皆様が厳しい経営環境の中で持続・発展できるよう支援するとともに、デジタル化、グリーン化などに重点を置きながら、皆様のチャレンジを支援してまいります。

本事例集は、当センターがこれまで支援してきた多くの事例のうち、特に大きな成果をあげられたもの、さらには、成果を基にさらなる実用化に向けて取り組みを継続されているもの等について掲載しています。

本事例集が、県内中小企業の皆様の経営課題の解決や競争力強化の一助となりますことを祈念しております。

佐賀県産業イノベーションセンター

所長 井田 康德

# CONTENTS

01

P2-3

ものづくり振興課

経営者塾で学んだ知識を生かした組立工程の時間短縮

株式会社リードうさ

02

P4-5

ものづくり振興課

新作ベッドの開発と海外の展示会出展による新たな価値の創造（補助金活用）

レグナテック株式会社

03

P6-7

ものづくり振興課

セミナー受講&補助金を活用した展示会への出展で新規商談7件（2,400万円）成立

株式会社中村電機製作所

04

P8-9

農村ビジネス振興課

規格外や未利用の素材を活用した商品開発で新たな売上の確保

株式会社新航丸

05

P10-11

農村ビジネス振興課

観光農園の立ち上げ&集客と事業拡大で新たな売上の確保

株式会社花祭果実

06

P12-13

農村ビジネス振興課

販売戦略・衛生管理の支援を受けて、ギフト商品やホテル向け販路を開拓

株式会社塚島ファーム

07

P14-15

ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）

スタートアップコンシェルジュの伴走支援とアワード受賞が引き起こすメディア注目と販路拡大

株式会社Retocos

08

P16-17

ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）

キャンピングカー市場への新規参入（補助金活用）

株式会社キョーフ

09

P18-19

ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）

専門家派遣・補助金を活用した経営基盤の強化と円滑な事業承継

佐賀冷凍食品株式会社

10

P20-21

研究開発振興課

レーザー加工技術の高度化と画像処理ソフトウェアの開発に成功（補助金活用）

武井電機工業株式会社

11

P22-23

研究開発振興課

補助金と知財支援をマルチ活用して生まれた有田焼の新製品で年間売上 3,500万円を達成

株式会社大慶

12

P24-25

研究開発振興課・知財支援課（INPIT知財総合支援窓口）

白あられきくらげの成分分析と知財支援の活用でさらなる商品開発へ

農業生産法人グレイスファーム株式会社

13

P26-27

知財支援課（INPIT知財総合支援窓口）

商標登録や多数の商品開発、増産体制の確立で大手百貨店との取引を実現

松本アイス工房  
（株式会社Hamanda Dairy Farm）

14

P28-29

知財支援課（INPIT知財総合支援窓口）

飼料製造の特許取得によるブランド化の推進

株式会社トーセン農場

15

P30-31

知財支援課（INPIT知財総合支援窓口）

登録商標を用いたブランディングでミシュランガイドに掲載されるほどの人気店に

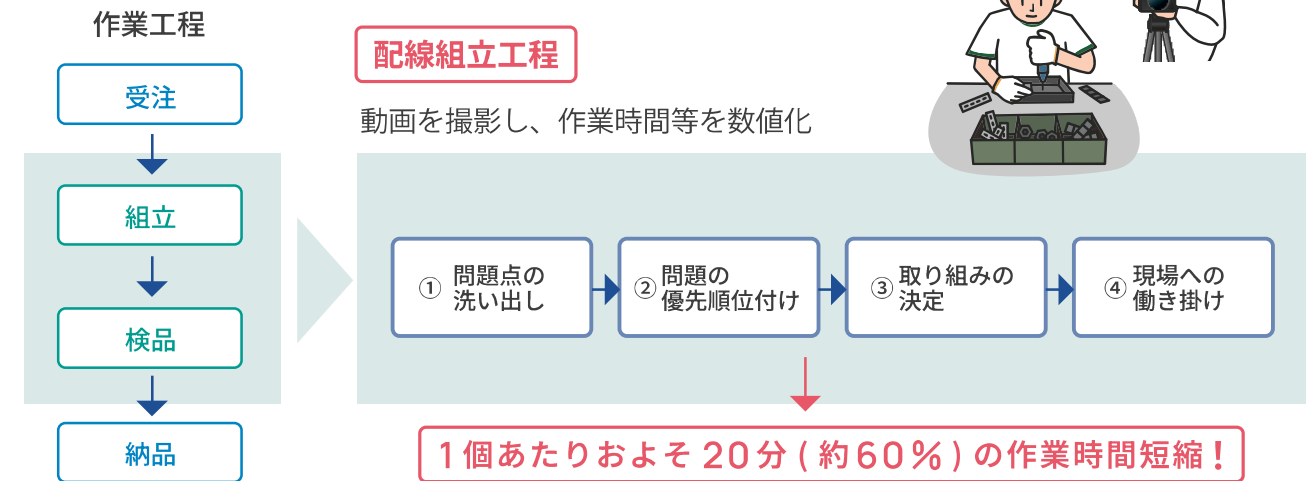
ピッツェリア・ダ・ジーノ



専門家を派遣して現場が改善された後の工場の様子

## 経営者塾の活用と専門家派遣での伴走支援

経営管理・マーケティング・情報戦略などをテーマにした経営セミナー「経営者塾」を受講。主に経営における利益・損失の考え方やデータの集計方法、現場改善方法などを支援。また、現場力向上支援事業の専門家を派遣し、配線組立工程における業務の効率化等を一年かけて伴走支援。現状の作業行程を動画撮影して要因解析(CT解析)を実施、各作業の問題点を抽出し改善案を提案。工程レイアウトの変更、部材や書類の専用置場を設置、専用通箱の設置・運用を行った結果、1個あたりの組立作業時間32分が12分に大幅改善し、業務の効率化に繋がった。



組立行程



新たに設置した部材の専用置場

### 01 成果事例 | ものづくり振興課

## 経営者塾で学んだ知識を生かした組立工程の時間短縮

### Company 株式会社リードうさ

佐賀市諸富町を拠点に半導体製造装置等の制御盤や電力関係の分電盤、配電盤などの組立・製造を行う3代続くものづくり企業。設計から製作まで一貫して対応する為、協力企業と連携した生産体制をとっている。

〒840-2102 佐賀県佐賀市諸富町大字為重 374-7  
TEL: 0952-47-5966



(株)リードうさ 社屋

### 支援を受けて

3年程前に前任者からの引き継ぎを受けて以降、思うようにいかないことが多くあり、立て直しの意味でイノベーションセンターを活用させていただきました。前任の代から何度かお世話になっていましたが、自分の代からは経営者塾等も積極的に活用させていただいています。実際の現場改善においては、週一回ペースで専門家を派遣頂き、現状の数値化や現場整理について支援いただきました。これまで全てにおいて数値やデータに基づく効率化の取り組みがほとんど無い状態でしたが、大手企業の生産方式などをご教授頂き、現場解析することで省ける工程を顕在化することができました。また、2年程前まで7~8名だった従業員が今では28名に増え、半導体関連製品の需要も相まって受注件数は非常に高まっています。専門員からは今なお的確なアドバイスを継続的に頂いており、作業効率UPや現場改善等、様々な面で役立っています。



株式会社リードうさ  
代表取締役 松尾 公嗣

ものづくり振興課 TEL:0952-34-4416



補助金を活用して開発したベッド「Dux x Ariake -Yasumi Headboard, Night Table, and Nightstand-」

## 中小企業新事業 チャレンジ支援補助金に採択

新型コロナウイルス感染拡大による景気の低迷や原油・原材料価格の高騰の影響により厳しい経営環境にある中小企業。この状況を乗り越える支援策として、佐賀県では売上の向上や収益力の強化を図るため、新たな発想で事業の変革に挑む県内の中小事業者を対象とした、佐賀県中小企業新事業チャレンジ支援補助金事業を実施。補助金を活用することで、レグナテックと平田椅子製作所の二社が立ち上げたブランド「ARIAKE」は、海外のデザイナーと共同で新作ベッドを開発し、海外の展示会に出展。県産材を用いた商品が高い評価を得た。



「ミラネーゼの邸宅」



「Dux x Ariake -Yasumi Headboard, Night Table, and Nightstand-」



「Hikari Cabinet - ヒカリ キャビネット -」

## ミラノデザインウィーク 2023 への展示

ミラノデザインウィーク 2023 にて、当ブランドのクリエイティブディレクターでもある、ガブリエル・タン ディレクションの下、ボルタ・ヴェネツィアにあるミラネーゼの邸宅を舞台にした展示会を開催。

会場では、ARIAKE の家具の他、Origin Made のハンドメイドオブジェ、Secto Design の曲げ木を用いた照明、Sera Helsinki のエチオピア製ラグ、Mui Lab のカームテクノロジーなどを展示。



### 支援を受けて

当社レグナテックでは、人口の減少に伴う国内市場の縮小が避けられない中、海外への販路開拓の促進を画策していました。殊に、世界的に睡眠空間への関心が高まっていることもあり、ベッドフレームの製作を検討していましたが、今までに本格的にベッドフレームを製作した経験がなく、また世界のマットレス規格に関する知見が不足しておりました。

そんな中、佐賀市諸富町にある、デザインセンターの職員さんより、「佐賀県中小企業新事業チャレンジ支援補助金」を教えて頂き、無事に採択。支援を頂いたおかげで、海外のクリエイターとの協業が実現し、さらにミラノで開催された国際家具見本市「ミラノ・サローネ」に出展することができました。世界中のバイヤーからは、今回使用した佐賀県産のヒノキ材への評価が高く、マットレスの規格や世界で流通させるために必要なこと、注意点などをヒアリングすることができました。また、実績報告書の提出の際には、必要な書類や成果物など、丁寧に教えてくださり、スムーズに事業を実施、完結させることができました。

レグナテック株式会社 専務取締役 樺島 賢吾

## 02 成果事例 | ものづくり振興課

### 新作ベッドの開発と海外の展示会出展による 新たな価値の創造 (補助金活用)

Company

#### レグナテック株式会社

佐賀市諸富町を拠点とする高品質な国産家具メーカー。シンプルなデザインと上質な素材にこだわったインテリア家具の製造・販売、公共施設・オフィス・商業施設のコントラクト家具を製造している。



〒840-2106 佐賀県佐賀市諸富町山領 266-1 (本社・工場・ショールーム)  
TEL:0952-47-6111

<https://www.legnatec.co.jp>



レグナテック(株) 社屋



セミナー受講後のブースの様子

## 「展示会での営業成果を出すセミナー」に参加

「展示会での営業成果を出すセミナー」では、来場者が足を止めるブース作り方法、キャッチコピーの作り方など、展示会を活用して優良な見込み客と出会い、受注し売上を上げる方法についての研修を受講。受講後、令和3年度さが「きらめく」ものづくり補助金（販路拡大）を活用し、INCHEM TOKYO 2021 第3回防爆防災リスク対策展へ出展。令和4年度の成果報告によると展示会出展に伴う新規商談成立7件（2,400万円）、商談継続3件の成果に繋がっている。



セミナー受講前のブースの様子

### 展示会実績

展示小間訪問者数	／	約 400 人
名刺交換枚数	／	176 枚
商談件数	／	41 件



防爆製品製造の様子

### 中村電機製作所の主力製品



防爆振動センサ NEVO



防爆タッチパネル PC



防爆パソコン

## 03 成果事例 | ものづくり振興課

# セミナー受講 & 補助金を活用した展示会への出展で 新規商談 7 件 (2,400万円) 成立

Company

## 株式会社中村電機製作所

1946年に創業した防爆製品の専門メーカー。防爆電気機器の開発・製造・販売を行っている。近年では水素エネルギーに対応した防爆製品も開発している。



〒849-0921 佐賀県佐賀市高木瀬西 6 丁目 4-7  
TEL:0952-30-8141

<https://www.ex-nakamura.co.jp>



(株)中村電機製作所 社屋



## 支援を受けて

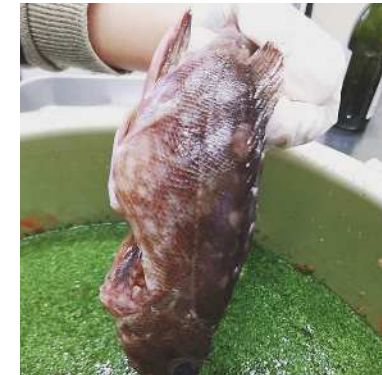
以前より、無料の展示会等に参加し、販路拡大を試みておりました。しかし、防爆という特殊な事業内容そのものを知っている来場者が少なく、防爆の説明を一日中行うのみで商談には至らず、受注に結びつく、より専門的で規模の大きな展示会への参加が当社の課題となっておりました。今回参加させて頂いた展示会は、来場者の8~9割が、防爆の知識があり、取引先となり得る、優良な見込み客が多い一方、ブース出展費が大きな出費となり、費用感的に厳しいものがありました。しかし補助金の活用により出展費用を抑えられ、浮いた分で攻めの営業を行うためのブース施工を行ったり、若手・開発者の同行を行ったりすることができ、今後の社員の成長にも繋がりました。また、セミナー受講で培った知識をもとに見せ方を工夫したブースには、立ち止まっていた方や商談につながる方の比率が高まったと実感しております。イノベーションセンターのみなさんには、補助金申請時やセミナー受講など、様々な面でお世話になっております。また、漠然とした相談を持ち込んだ際にも、快く丁寧に対応して頂き、いつも助かっております。

株式会社中村電機製作所 営業部 営業企画課 課長 中村 善之介

ものづくり振興課 TEL:0952-34-4416

## 専門家による最適な加工品開発と販路開拓支援

新型コロナウイルスによる来島者の激減に伴い「宝当海の駅」で販売していた干物やお土産の売り上げが減少。そこで、新たな収入源を得るためコーディネーターによる現状把握と適切なプランナー（専門家）とのマッチングを行い、加工品・冷凍加工品等の新商品開発の支援を行った。食材として市場で売れない、捨てられるだけの魚（規格外品や未利用魚）を活用することで、環境・資源にも配慮した加工品の開発に成功。商品は、ECサイトや海の駅を中心に販売を行う一方、県外からの学校給食用の注文が入るなど、徐々に販売額を伸ばしている。また、加工室整備や島の空き家を利活用したカフェ、ゲストハウスの事業拡大も支援。施設のデザインや高島で獲れた魚介や野菜を使った料理のレシピ作りもアドバイスをを行い、順調に事業を展開している。



未利用魚など



商品開発支援



新商品

### ■新商品

冷凍フライ  
（太刀魚、カマス、スズキ、アジ等）、  
島の海鮮カレー、海のスープ

### ■料理レシピ

ワカメを使った3種の Pastaソース、サワラ・サザエ・ウニなどを使ったおにぎり、太刀魚・キス・エビ・イカなどを使った天丼、夏野菜を使ったトマトソース・バジルソースなど



島の海鮮カレー・海のスープ（夏バージョン）

## 04 成果事例 | 農村ビジネス振興課

# 規格外や未利用の素材を活用した商品開発で 新たな売上の確保

Company

## 株式会社新航丸

唐津市の高島を拠点に3代続く定置網漁を営んでいる新航丸。ミネラル豊富な松浦川が注ぐ唐津湾を漁場に、多くの種類の新鮮な海産物を市場に卸している。

〒847-0027 佐賀県唐津市高島 519-4  
TEL:0955-73-1595



新航丸 野崎氏



高島



## 支援を受けて

昔から我が家の食卓に並んでいた魚フライを、多くの方々に食べて欲しいという思いから加工品作りに挑戦し、試作品製作をしていましたが、保健所の許可などがわからず滞っていました。そんな中、県の水産課職員が別用で高島を訪れていた際、たまたま「魚フライを商品化したい」という旨を伝えていたところ、補助金（冷凍・冷蔵庫の購入で活用）の紹介、産業イノベーションセンターのプランナー制度などを教えていただきました。加工のプランナーの先生をはじめ、農村ビジネスの担当者の方々は、みなさんフレンドリーかつ真剣に商品化や販売方法などを指導してくださり、毎月のプランナーによる試作品支援研究会は、毎回楽しい勉強になる会となっています。はじめは保健所の許可など、わからないことばかりでしたが、教えていただいたことを真剣に勉強し、自分なりの工夫を加えることで、素晴らしい加工品ができました。更に、フライから出た骨を「魚骨せんべい」にしたり、廃棄物も少なくなるような環境に優しい商品開発も行っています。今後もみなさんに「美味しい」と言ってもらえるような商品や、子供達に魚食を広げられるような商品の開発を続けていきたいです。それが嬉しいんです！

株式会社新航丸 取締役 野崎 清美

農村ビジネス振興課 TEL:0952-34-4418



花祭いちごの谷 (いちご狩り)

## 開業から売上・入場者数増加まで幅広くサポート

開業に向けて、先進事例の情報提供やプランナー派遣等の支援を実施し、2021年に観光農園「花祭いちごの谷」が開業。その後も Web サイト、SNS の活用指導を行った。また、2022年には江北駅北側にアンテナショップを開業し、商品開発から衛生管理等の支援を行った。コーディネーターによる現状把握と適切なプランナーへのマッチングを行い、さらなる事業拡大の伴走支援を行なっている。



2021年1月観光農園「花祭いちごの谷」開園  
2023年1月農園増設



2022年5月に江北駅北側「エキ・キタ」内にいちごのスイーツ & テイクアウト専門店「いちご CAFE」を開業。  
自家製苺をふんだんに使用したスイーツを販売。



【通常営業】  
月～金の11時～15時  
※農作業、研修などで臨時休業する場合があります。

## 05 成果事例 | 農村ビジネス振興課

# 観光農園の立ち上げ & 集客と事業拡大で 新たな売上の確保

Company  
**株式会社花祭果実**

佐賀県杵島郡江北町にて観光農園「花祭いちごの谷」、アンテナショップ「いちご CAFE」を運営している。  
「お客様に直接いちごを食べていただきたい」という想いから立ち上げた。

〒849-0501 佐賀県杵島郡江北町大字山口 480 番地 (事務所)  
佐賀県杵島郡江北町大字山口 6815 番地 (農園)  
TEL : 090-2159-1515 <https://www.ichigonotani.com>



アンテナショップ「いちご CAFE」

## 支援を受けて

イノベーションセンターには観光農園の立ち上げの際、経営理念や事業計画の作成、花祭果実全体のブランディング、ロゴのデザインの作成等でご支援いただき、毎年、売上、入場者数共に増えております。また、現在は事業計画見直しのためのプランナーを派遣していただき、短期事業計画書の作成、中長期の事業計画、事業見直しの支援など、本当にありがたいです。事業が多岐にわたり、農園経営、カフェの運営などの農村ビジネスについては全くの素人なので、専門的な指導がなければ実現できなかったと思います。カフェメニューは夏場の収益確保に繋がりました。本当に助かっております。

株式会社花祭果実 代表取締役 唐島 晶悟

農村ビジネス振興課 TEL:0952-34-4418



## コーディネーターとプランナーによる6次産業化への伴走支援

昭和43年から酪農をはじめた「塚島ファーム」では、搾りたての生乳をカタチにしたいという願いから着色料、保存料を使わないジェラート作りを平成27年にスタートした。当初は売れ行き好調であったが、時間経過と共に売り上げの伸び悩みが課題となっていた。そこで、イノベーションセンターに売上向上の相談があったので、コーディネーターによる現状把握と適切なプランナーへのマッチングを行い、販売戦略・衛生管理についての支援を実施。自らの強みを活かした販売戦略を再構築し、数種のお中元ギフトの取り扱いなど販路の拡大に成功。地元産にこだわった商品づくりが評価され、現在では嬉野の市内の高級ホテルでも、取扱いが行われている。



コーディネーターとのやりとりをきっかけに参加した商談会の様子



あえて卵は使わず生乳をたっぷり使用した「STELLA GELATO」。酪農家だからこそできるミルクの風味を生かした商品作りを行っている。



生乳たっぷりの「STELLA GELATO」

### 06 成果事例 | 農村ビジネス振興課

## 販売戦略・衛生管理の支援を受けて、ギフト商品やホテル向け販路を開拓

Company

### 株式会社塚島ファーム

佐賀県鹿島市の酪農家。できるだけ牛にストレスを与えない方法で飼育するとともに、自家栽培の牧草を飼料に使用。また、搾りたての生乳を使ったジェラートなど、こだわりの商品づくりに取り組んでいる。



〒849-1301 佐賀県鹿島市大字常広 2064-1

TEL: 0954-62-0238

<https://shop.tsukajima-farm.com>



(株) 塚島ファーム 加工所



### 支援を受けて

6次産業化を目指すにあたり、国からの補助金を受けるため「総合化事業計画」を作る必要がありましたが、農家である自分たちだけでは難しく、イノベーションセンターをはじめ鹿島市や県現地機関の強力な支援をいただきました。当初、酪農が本業ということもあり、ジェラートの商品化が叶った際には、商品化したことに満足し、売上を出さなくても...と考えていました。「酪農を助けるくらいの売上を伸ばさないと...」とプランナーからアドバイスを受けたことで、「ただ作って終わりではなく、その後の販売での成果を出そう」と思えるようになり、そこで本当の6次産業化の意味を理解することができました。

コーディネーター、プランナーのみなさんも、事業が進むにつれ、新たに生じる多くの悩みに対して親身になって一緒に取り組んでいただきました。衛生面・販売面も別の角度から、的確なアドバイスを受けられたことで、良い方向に向かうことができたと思っています。現在では支援のおかげで売り上げも伸びており、お中元ギフト等で地元から全国へと販路が広がっています。



株式会社塚島ファーム  
塚島 信子

農村ビジネス振興課 TEL:0952-34-4418

## スタートアップコンシェルジュによるアワードへの推薦、 応募支援等の伴走支援

佐賀県北部に点在する7つの島と加部島で、島の耕作放棄地でオーガニックコスメ原料の提供を行う(株)Retocos。佐賀県のスタートアップ事業(佐賀を“起業の聖地”とする“佐賀型”スタートアップの育成支援及び、成長フェーズに合わせた個別指導プログラム等)と連携してビジネス創生支援課に所属するスタートアップコンシェルジュが、ビジネスコンテスト等アワードへの推薦及び応募支援、メンタリング等の伴走支援を行った。



高島のホーリーバジル

いままで見過ごされていた地域資源の魅力を再解釈し発信するとともに、顧客企業に向けては資源利用による商品開発のコンサルティングを実施。化粧品の販売によって調達した資金を、耕作放棄地の再利用に充てることでリジェネラティブな循環を生み出している。また「エシカルツーリズム」のプログラムを展開することで、地域に負担のかからない観光のかたちを模索するとともに、化粧品にのみ依存しない多面的な経済活性化のモデル構築を目指し活動を行っている。

このほかにも、7つの島と加部島ではキヌア、甘夏、ホーリーバジルなど様々な素材をコスメ原料に加工し、人口減少の進む離島の雇用・経済創出に大きく貢献している。

Retocosは、2021年には女性社長が選ぶ女性社長のためのアワード「J300アワード」で大賞を受賞。注目を浴び新聞・TV等メディア取材が増えた影響で、引き合いも多く、高級ホテル・旅館等のアメニティ等の受注にも繋がっている。また、翌年には「2022年度グッドデザイン賞」に推薦され、「Retocosは、離島の植物を化粧品として製品化した、ままたる小規模な取り組みと一線を画す」として受賞となった。



高島のローゼル



加唐島の椿



ホーリーバジルハーブティ、フレグランススプレー、芳香蒸留水(後方)、精油(前方)、トリートメント・ボディソープ・シャンプー



(株)Retocosのフレグランススプレー

photo: Hideki Mizuta / Koichiro Fujimoto

### 07 成果事例 | ビジネス創生支援課(佐賀県よろず支援拠点)

## スタートアップコンシェルジュの伴走支援と アワード受賞が引き起こすメディア注目と販路拡大

### Company 株式会社 Retocos

「人々が自然と共生しながら豊かに暮らせる未来」を目指し、設立した株式会社 Retocos。佐賀県唐津市にある7つの島と加部島などに自生する植物や耕作放棄地で栽培したハーブなどの多様な素材から抽出した原料を使い、かおりに特化したプロダクトの製造販売を一貫通貫で行うことにより、循環型のリジェネラティブな仕組み作りを目指している。

〒847-0027 佐賀県唐津市高島 436  
https://retocos.com



(株)Retocos 事務所

### 支援を受けて

県の産業DX・スタートアップ推進グループのアクセラレーションプログラムに参加しました。その後、持続可能な経済活動を実現する取り組みとして株式会社 Retocos を立ち上げました。プログラムでの経験は自分の事業の整理にも繋がりました。当初は自社の商品があるわけではなく、B to Bでの原料の栽培・提供がメインであった為、何の事業をしているのかわかりづらい面もありましたが、イノベーションセンターのスタートアップコンシェルジュからのアドバイスもあり、自分では気づけなかった自分の強みを知ることができました。J300への推薦に尽力して頂いたことはもちろん、あまり人前に出ることが得意ではなかった自分にとって、受賞によって得られた成功体験が励みになっており、挑戦によって様々な方との出会いや交流が大きな経験になっています。今後は、地域資源の魅力を発信はもちろん、挑戦する女性たちの背中を押して行けるような存在になりたいです。



株式会社 Retocos  
代表取締役 三田 かおり

ビジネス創生支援課(佐賀県よろず支援拠点) TEL:0952-34-4422 (TEL:0952-34-4433)

## これまでのビジネスモデルから一歩踏み出した新たな取組に挑戦

「ものづくり×クリエイティブ」をコンセプトとした、「ものづくり企業イノベーション促進事業費補助金」を活用。家具メーカー「株式会社レグナテック」と連携し、主力事業の活魚輸送用トラック製造で培われた車両加工技術と、レグナテックが持つデザイン性のあるインテリアから成るキャンピングカーを開発した。キャンピングカー市場という、拡大・成長を続ける新規市場への参入を果たし、衰退のおそれがある既存事業に代わる新たな収益の柱となる可能性を見出している。完成したキャンピングカーはSAGAアリーナで開催された「ものスゴフェスタ9」でも展示され、多くの来場者からの好評を得た。

既存事業

新規事業



主力事業  
FRP水槽、活魚輸送用トラックなど



デザイン性のあるインテリア（「株式会社レグナテック」と連携）



ものスゴフェスタ9 出展の様子



自社技術を生かした外装構造設計



(株)キョーワによりカスタマイズされたキャンピングカー

### 08 成果事例 | ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）

## キャンピングカー市場への新規参入 （補助金活用）

### Company 株式会社キョーワ

佐賀県伊万里市にて50年に渡り、FRP水槽、活魚輸送車の製造販売を行うFRP成型加工の専門メーカー。活魚輸送車製造の分野では国内トップシェアを誇る。

〒849-4283 佐賀県伊万里市東山代町東大久保1761-1  
TEL: 0955-28-5111  
<https://camp-technicar.jp>



(株)キョーワ 社屋

### 支援を受けて

コロナ禍に始まったアウトドアブームもあり、新たにキャンピングカー事業への参入を考えていた時、以前からお世話になっていたイノベーションセンターのコーディネーターからの紹介で今回の補助金の活用に関わりました。キャンピングカーの製作にあたり、既存事業で培った外装FRPや、電気関係、空調関係などのノウハウは持っていましたが、インテリアデザインやユーザーニーズについてのノウハウが無かったため、知り合いづてにレグナテックさんを紹介してもらい協業する運びとなりました。今まで商用車の販売がメインだったこともあり、デザインの費用感などがわからずにいましたが、レグナテックさんはもちろんイノベーションセンターにもサポート頂け、非常に助かりました。また、補助金の申請についても書類の書き方から申請後のフォローまで、苦手としている事務処理関係も含めて細かにアドバイスを頂けたおかげでスムーズに手続きすることができました。

株式会社キョーワ 代表取締役 古賀 通浩

ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）TEL:0952-34-4422 (TEL:0952-34-4433)

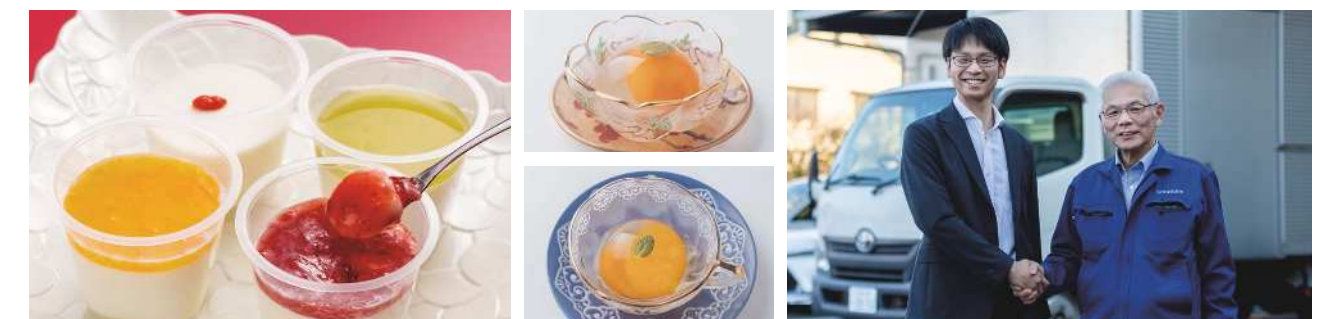
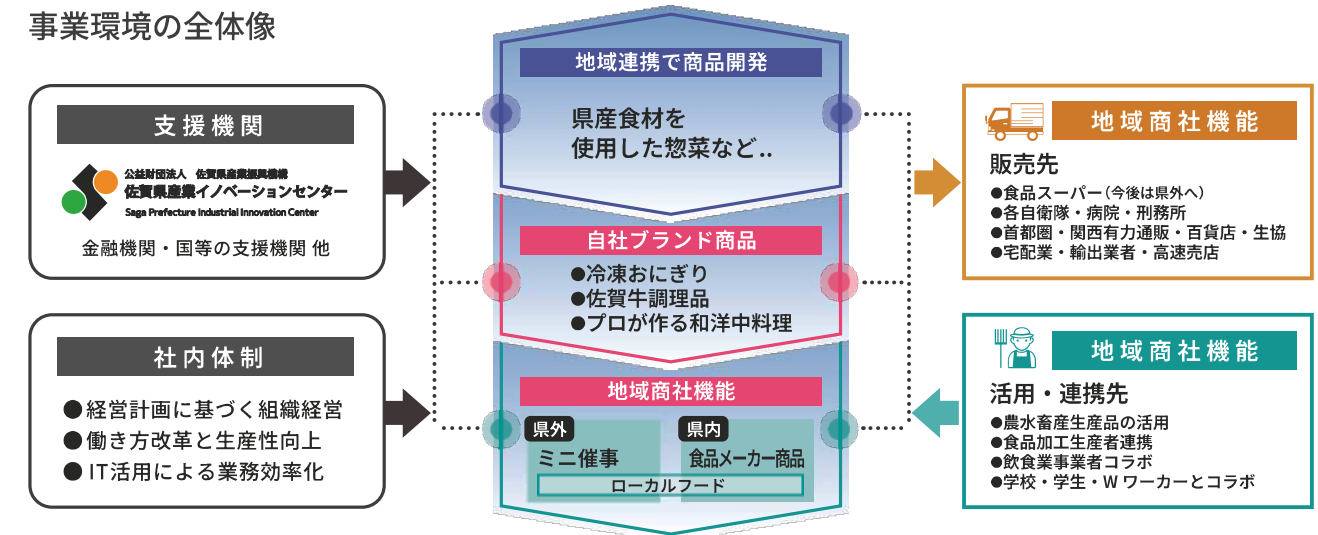


佐賀冷凍食品(株)が開発した「佐賀牛肉まん」

## 補助金の活用と生産性向上のための事業計画の策定

「ものづくり企業イノベーション促進事業費補助金」と、国の「JAPAN ブランド育成支援等事業費補助金」を活用。商品製造設備の増強や、専門家派遣により開発した九州産フルーツとお茶、日本酒を活用した冷凍スイーツで海外展開を目指している。また、生産性向上を図る事業計画を策定して実行したことで、2022年3月期(計画1年目)は対前年比104%の売上高を達成。経営基盤の強化により、当初2024年の予定であった後継者への事業継承(代表取締役就任)を2023年に前倒しすることができた。

### 事業環境の全体像



佐賀県産のお茶等を活用した杏仁スイーツと日本酒を活用したゼリー

2023年には後継者への事業承継を行った。  
古賀照基社長(左)、古賀正弘営業本部長(右)

## 09 成果事例 | ビジネス創生支援課 (佐賀県よろず支援拠点)

### 専門家派遣・補助金を活用した 経営基盤の強化と円滑な事業承継

#### Company 佐賀冷凍食品株式会社

佐賀県小城市に本社を構える食品卸・製造会社。「おいしい、地元食材、安心」をテーマに、佐賀県内の生産者やシェフと連携して付加価値の高い商品づくりを追求している。

〒849-0311 佐賀県小城市芦刈町芦溝 128-3  
TEL: 0952-66-4521  
<https://kanesue-saga.jp>



佐賀冷凍食品(株) 社屋

### 支援を受けて

イノベーションセンターではよろず支援拠点(本拠点は経済産業省委託事業として実施)、知財支援課(INPIT 知財総合支援窓口)にお世話になっており、県内に限らず県外からも積極的な専門家派遣を行って頂きました。久保田工場を立てる際には様々な相談に乗って頂き、今でも週一回ペースで支援を続けてもらっています。コロナ禍では、打撃を受けた飲食店と連携し、各店のノウハウを生かした冷凍食品開発にも成功。今まで持っていた販路をどう生かすかなどのアドバイスや、地元の専門家の手助けのもと、地域連携の強化、新たなビジネスモデルのヒントなどを数多く頂きました。マーケティングについてはもちろん、写真の撮り方や動画の作り方など、どうすれば有効に使うことができるのかなどの細かい部分でも、実際に現地を話しながらアドバイス等を頂いています。また、これら支援を継続的に行って頂けることで何が問題か、何をしなければならぬのかを明確にでき、不安なく前に進めています。

佐賀冷凍食品株式会社 代表取締役 古賀 照基

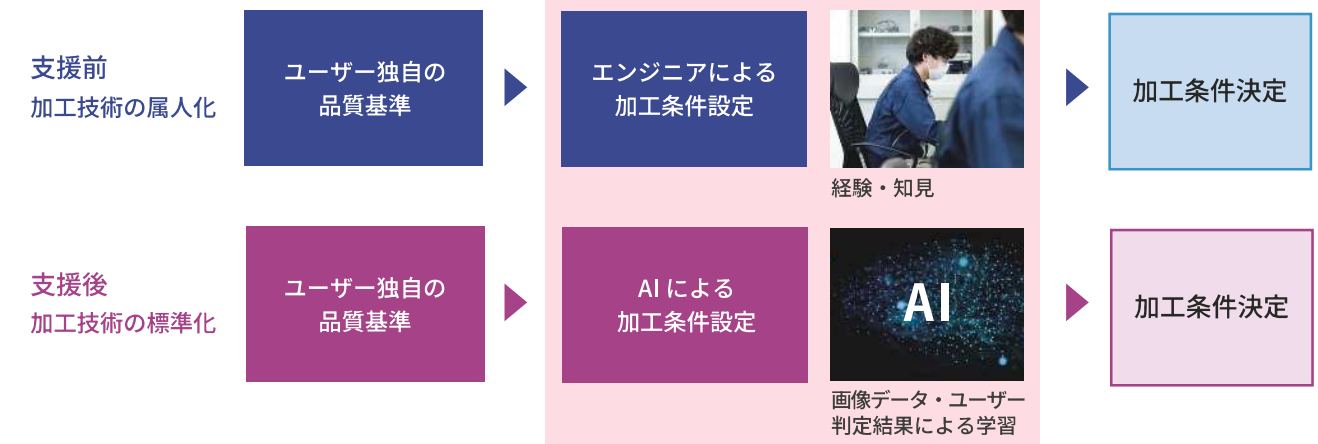
ビジネス創生支援課 (佐賀県よろず支援拠点) TEL:0952-34-4422 (TEL:0952-34-4433)



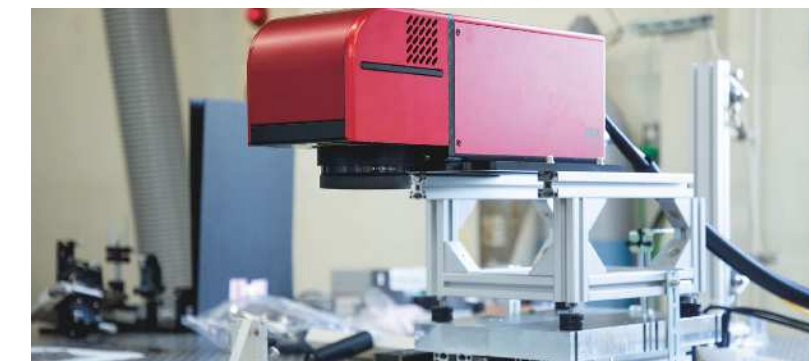
レーザー加工と画像処理を行う工場の様子

## 補助金を活用した研究開発で AI によるシステムを構築

武井電機工業の主要製品であるレーザー加工機は、機能性フィルムからエアバックシートの切断加工など用途に応じた装置を戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）を活用し、開発を進めてきた。加工機のユーザーには独自の品質基準があり、その加工条件設定は経験により属人化していたため、簡便に加工条件を最適化できるシステムの構築が求められていた。そこで、さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業新技術・新製品開発補助事業費補助金を活用し、独自の画像処理ソフトウェアを用いた AI による条件設定が可能なシステムを開発することに成功し、ユーザーごとの様々な加工条件に対応可能になった。



画像処理ソフトウェア



レーザー加工機

### 10 成果事例 | 研究開発振興課

## レーザー加工技術の高度化と画像処理ソフトウェアの開発に成功（補助金活用）

### Company 武井電機工業株式会社

レーザー加工機の製造から FA メカトロ装置、自動化設備やシステム制御などあらゆる加工装置の構築を得意とする製造会社。武井電機工業の持つ独自の加工技術は、スマートフォンや自動車に活用されるなど大企業や国内外から確かな信頼を得ている。

〒 849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口 2617  
TEL : 0942-89-4151  
<https://www.takei-ele.co.jp>



武井電機工業(株) 社屋

### 支援を受けて

新しい技術を育てる為には、やりたいことに本気で取り組める環境作りが重要な要素となります。そういった意味でも補助金の活用は非常に役立つと考えております。もちろん経済的な支援という側面もありますが、投資する経営者の理解を得やすいことや、高卒の社員たちが研究開発を通して大学の先生方と交流し、社員のレベルやモチベーションを高めることもできました。また、我々のような佐賀の中小企業でも補助金活用で開発した製品・技術が世の中に多く出回ること、大企業と肩を並べ、高いレベルの企業と協力しあえるようになりました。大企業との協力がさらに新たなニーズを生み、社員にクリエイターとしての気持ちの芽生えが出てきたことで、会社のレベルアップに繋がったことが大きなメリットだと感じています。イノベーションセンターには今回の補助金以外にも様々なお力添えを頂いていますが、いつも人ごとではなく、自分ごととしてアドバイスを頂いており、親身になって中小企業を支えてくれています。



武井電機工業株式会社  
(左) 執行役員 技術部 部長 桑原 太郎  
(右) 技術部 技術課 係長 尾形 国彦

研究開発振興課 TEL:0952-34-4413



補助金を活用して開発した「究極のごはん鍋 HACHI」

## 調理器にチャレンジ!

20年以上前から製造していた土鍋をより扱いやすく、失敗しないで美味しいご飯が炊けるようにという想いで新製品の開発に着手。さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業新技術・新製品開発補助事業費補助金の活用に加えてセンター知財支援課の強力なバックアップもあり、火加減なしで炊くことが可能な「究極のごはん鍋 HACHI」の開発に成功した。テレビショッピングでは、当初 1,000 個作っていた在庫はわずか 40 分で完売。2022 年度売上は 3,500 万円と、順調に販売数を増やしており、2023 年度では前年を上回る勢いで販売中。研究開発振興課では、補助事業終了後も継続的に支援を続けている。



生産国：日本（有田焼）  
 材質：【本体】特殊耐熱陶土、【蓋】磁器  
 対応熱源：【本体】直火・電子レンジ・オープン、【蓋】電子レンジ  
 耐熱温度：【本体】350°C 以上（JIS 規格） 耐冷温度：【本体・蓋】-20°C  
 冷蔵・冷凍庫：使用可能 食器洗浄機、食器乾燥機：使用可能  
 寸法（約）：20×25 H14.5cm 重量（約）：【本体】1500g、【蓋】590g、  
 【圧力調整蓋】40g



蓋のつまみ部分に、さらに蓋がついている。その蓋（圧力調整蓋）を被せることで、蒸気を閉じ込め、圧力が適度にかかることで蒸気の吹きこぼれ、飛び跳ね防止にもなり、美味しいご飯が炊ける。また、蓋の裏には螺旋状突起が設けられており、これにより蒸気がまんべんなくご飯に落ち、美味しくなる。上記 2 つの機構は共に特許出願中。



現在では 1 合炊き、2 合炊きも展開。  
 火加減が必要ない為、アウトドア等にも最適。

## 11 成果事例 | 研究開発振興課

# 補助金と知財支援をマルチ活用して生まれた有田焼の新製品で年間売上 3,500 万円を達成

Company  
**株式会社大慶**

創業明治 12 年、有田の地で 142 年の歴史を経て今なお食卓に彩りを添える器を作り出している有田焼製造販売会社。一つ一つに存在意義を持たせることに重視し、唯一無二の高品質な製品を製造している。



アリタセラ / Arita Será 店  
 〒844-0024 佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙 2351 番地 169-7  
 営業時間：10:00～17:00 年中無休  
 TEL 0955-41-9090

〒849-4143 佐賀県西松浦郡有田町下山谷乙 1162-12  
 TEL：0955-46-2323 FAX：0955-46-2324  
<https://daikei-arita.jp>

## 支援を受けて

イノベーションセンターとは、知財関係で以前よりお世話になっており、メールで補助金活用のお知らせを頂きました。「究極のごはん鍋 HACHI」を製造するにあたっては、重量やサイズにムラができるのを防ぐため、金型の製作から始める必要がありましたが、金型の製作には高いコストがかかるため、補助金を利用し、金型製作及びレシピ等を作るために活用させて頂きました。イノベーションセンターのみなさんは、コロナ禍で直接会えなくても電話で対応して頂いたり、お客様に喜ばれる商品開発の相談にも乗って頂いたり、対応よく知恵を貸して下さいました。また、特許出願に関してもイノベーションセンターから弁理士さんを紹介してもらったなど様々な面で助けて頂いております。



株式会社大慶  
 代表取締役 森 義久

研究開発振興課 TEL:0952-34-4413

## 各種試験・分析による新たな可能性追求と特許取得

グレイスファームでは、流通、生産量のまだまだ少ない突然変異種である白あげきくらげに着目し、栽培、加工、販売をスタート。栽培した白あげきくらげ「白美茸」の商標登録を皮切りにイノベーションセンターを活用。白あげきくらげの持つ高い保湿力を生かし開発された石鹸「白美の雫」は国内外問わず高い評価を得ており、台湾のテレビショッピングで放送された際には即売するなど、爆発的ヒットを記録している。

また、更なる白あげきくらげの活用方法を模索する為、研究開発振興課を活用し、工業技術センターの協力を得て成分分析を実施。2023年時点で1件の特許取得と1件の特許出願に繋がった。他にもイノベーションセンターではきくらげに限らずグレイスファームが取り扱う果物等のPRも実施している。

### 白美茸パウダー

「天然物由来の多機能性粉体」として特許取得

加工食品の原料としても活用が可能なきくらげパウダー。佐賀県立唐津南高等学校が作製したパウダー入りどら焼きは、全国和菓子甲子園で奨励賞を受賞。

パウダーの持つ高い保湿力により時間が経過しても固くなりにくい特性を持つ。



### 白美茸エキス

「天然物由来の多機能性素材とその用途」として特許出願

成分分析の結果、ヒアルロン酸と同等の高い保湿力を持つことが示唆された白美茸エキス。老化の一種である「糖化」に作用する「抗糖化」能力も極めて高く、パウダー製造時には廃棄していた石づき（きくらげの根本）部分からも抽出可能な為、食品ロス軽減にも繋がっている。



ミストで湿度管理



台湾販売用に作られた「白美の雫」パッケージ。



白あげきくらげの高い保湿力を生かした石鹸「白美の雫」

12 成果事例 | 研究開発振興課・知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口)

## 白あげきくらげの成分分析と知財支援の活用でさらなる商品開発へ

Company

### 農業生産法人グレイスファーム株式会社

佐賀県唐津市にて、きくらげの栽培及び販売を行う会社。突然変異で生まれた白あげきくらげに着目。商標「白美茸（はくびたけ）」を取得し、主力商品として様々な用途の可能性を追及している。



〒847-1107 佐賀県唐津市七山藤川 2273 番地

TEL: 0955-58-2477

http://gracefarm.biz



農業生産法人グレイスファーム株式会社 社屋



### 支援を受けて

イノベーションセンターは商標登録申請の際から活用させて頂いています。いつも私たちの知らない様々な情報を提供して頂いたり、様々なことを実践して頂いたりと多くの面で助かっています。白あげきくらげについても成分分析を行わなければ、ただ単に「色の白い珍しいだけのきくらげ」としてしか販売できませんでした。自分たちの商品を分析・データ化し、活用あるいは特許にしていけることで今まで見えなかった商品の魅力や強みを知ることができ、次のステップへ進むことができました。今後はこれら分析結果を生かし、卵アレルギーの方にに向けた卵白の代替品ともなる「白美茸エキス」の提供や、「白美の雫」シリーズ商品の開発等を進めています。



農業生産法人

グレイスファーム株式会社

代表取締役 副島 幸輔

専務取締役 副島 耕一

研究開発振興課 TEL:0952-34-4413 ・ 知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口) TEL:0952-30-8191



商標登録した松本アイス工房「milly's」

## 商標登録から設備増強のための専門家派遣まで幅広く支援

最初に商品化したアイスクリームの名称「milly's」の商標登録手続き支援を契機として、その後の事業拡大に伴う新たな商品開発や増産体制などの更なる支援を実施。商品発売当初より大手流通先から多くの引き合いがあったことから、知財専門家を活用して取引契約の助言を行うとともに、大手百貨店の要望を受けて新製品を開発するにあたっては、活用難度の高い材料の加工や食品表示の見直し、手作業工程の半自動化（衛生安全面・品質保持のためのインナーシール機の導入、一定充填量が可能な充填機の導入）などについて、各専門家の助言を活用して支援を実施した。百貨店等から要望で複数の商品開発及び新たなパッケージの作成が行われ、現在は主力商品 9種類・新パッケージの高額商品 3 種での販売展開が進められている。また、設備等の増強で製造可能数は倍増（6,000 個/月）となり、専任従業員も雇用された。



松本牧場の本格ジェラート「milly's(ミリーズ)」。



要望を受けて作成された新パッケージのプレミアム商品。



衛生安全面を向上させるため導入されたインナーシール機



専門員からのアドバイスをを受け導入した充填機。

### 13 成果事例 | 知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口)

## 商標登録や多数の商品開発、増産体制の確立で大手百貨店との取引を実現

Company  
松本アイス工房 株式会社 Hamanda Dairy Farm

1958年から続く歴史ある酪農家。海からの風が吹く自然豊かな牧場で、牧場で大切に育てた乳牛のしぼりたての新鮮なミルクをふんだんに使った本格ジェラート「ミリーズ」等の製造販売を行っている。

〒847-1432 佐賀県東松浦郡玄海町平尾 2-6  
TEL : 0955-52-3103  
<https://matsumotoiceshop.wixsite.com/main>



商標登録されたロゴ



### 支援を受けて

アイス製造を始める際に、パッケージに成分表をつける必要があり、保健所とのやりとりの中でわからないことが多々ありました。その相談先を探していたところ、農業振興センターから知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口) を紹介して頂きました。商品化後も商標登録の相談や、新商品のアイデア等、様々な面でお話になっています。また、大手と取引を行う際、衛生安全面や品質保持の観点から、インナーシールの導入や充填量の安定化が課題となっていました。新たな設備の紹介と導入により大手との取引も可能となりました。担当の知財トータルサポーターからは今なお「何かお困りごとがないか」など定期的にお声かけ頂き、こちらから相談したり、提案を頂いたりと多くの面で助けて頂いています。



松本アイス工房  
代表 松本 忠久

知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口) TEL:0952-30-8191



## 製品の権利化とビジネスモデルについての支援

鶏卵の生産事業者であるトーセン農場では、養鶏のエサには必要不可欠である魚粉が高騰してきたため、魚のあらを活用した飼料を手作りで行っていた。その飼料の製造方法に関する研究を積み重ね、あらと自社の破卵を組み合わせたほかの配合飼料にはない栄養価の高い魚粉製造技術を生み出すことに成功した。これら知財を守るため、知財支援課（INPIT 知財総合支援窓口）ではノウハウの整理や権利化、ブランディングの支援を実施。2018年には独立行政法人農林水産消費安全技術センターの厳しい食品安全飼料検査をクリアし、自家用飼料から「OMEGA FISH」として商品化。2020年には特許取得に成功した。弱点である生産量の問題に対応するため、フランチャイズ事業やコンサルタント事業を計画しており、順調に事業に広がりをもたらしている。

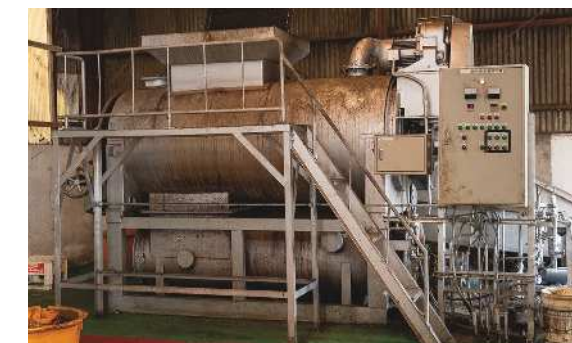
項目	支援成果
ノウハウの整理と権利化	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許出願、商標の取得</li> <li>ノウハウの可視化と成分の数値化</li> <li>業務のマニュアル化</li> </ul>
知財ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスモデル（FC など）想定・仮説</li> <li>ニーズデータから必要な権利のカバレッジ</li> </ul>
申請と契約書	<ul style="list-style-type: none"> <li>魚粉事業者の申請</li> <li>NDA</li> <li>各種契約</li> </ul>
営業ツール	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼン用資料、利益シミュレーター</li> <li>フライヤーの作り方</li> <li>販売先への対応方法</li> </ul>



特許製法で作られた魚粉飼料「OMEGA FISH」  
DHA や EPA、ビタミン類などの栄養価が他社製品と比べ約10倍ほど多く含まれている「OMEGA FISH」は、養鶏・養豚飼料にとどまらず、魚の養殖や農産物肥料、ペットフードなどにも商品化が進められている。



養鶏についても飼料に「OMEGA FISH」を活用することで4割のコストカットに成功。廃棄される魚のあらを活用するため、地球にも優しくエコな飼料作りができています。



施設内の魚粉製造設備



特許取得した(株)トーセン農場の魚粉飼料「OMEGA FISH」

### 14 成果事例 | 知財支援課（INPIT 知財総合支援窓口）

## 飼料製造の特許取得によるブランド化の推進

Company

### 株式会社トーセン農場

50年以上にわたり、卵・特殊卵の販売生産を行う養鶏場。養鶏業の他、魚のあらを回収して、飼料・肥料に再利用することで、高品質な卵の生産と、資源リサイクルに大きく貢献している。



〒849-1415 佐賀県嬉野市塩田町大草野丙 310

TEL: 0954-66-2290

<https://bso16920.bsj.jp>



「OMEGA FISH」を飼料に生産される(株)トーセン農場の卵

### 支援を受けて

地元の商工会がイノベーションセンター（INPIT 知財総合支援窓口）に「面白いこと」をしている企業として弊社を紹介していただいたのがきっかけで特許取得に繋がりました。当初、主業務の農場が忙しく特許申請についての関心はありませんでしたが、イノベーションセンターの担当者である知財トータルサポーターが熱心に何度も足を運んでいただいたこともあり、一度話を聞いてみることにしました。そして、自分の技術に可能性を感じ特許申請をしてみると、全国数多の企業の中から将来有望とのことで上位数社に選んでいただくとともに、経営マネジメントの専門家に3年間サポートもしていただきました。今では、特許申請の効果もあり、北海道から沖縄まで全国から問い合わせを受けています。大手に売れるほどの生産量の確保が難しいため、現在はフランチャイズ事業やコンサルタント事業の展開を計画しております。継続した支援を受けたおかげで様々なアイデアとビジネスチャンスを手に入れています。

株式会社トーセン農場 オメガフィッシュ事業 主幹 堀川 良一

知財支援課（INPIT 知財総合支援窓口） TEL:0952-30-8191



ピッツェリア・ダ・ジーノ店舗の様子



ミシュランガイド福岡・佐賀・長崎  
2019特別版に掲載されました。

## 登録商標を用いたブランディング支援

2018年に世界で665番目、佐賀県で唯一となるVERA PIZZAの認定を受けた「真のナポリピッツァ協会認定店」であるピッツェリア・ダ・ジーノ。自社ブランドを立上げ2店舗で提供するほか、並行して自社冷凍ピザの製造や、週末にはキッチンカーで佐賀県内のイベント会場に積極的に出店をしている。佐賀にいながら本場ナポリのピッツァをはじめとしたイタリアン料理の数々を楽しめる店として、幅広い層からの人気を獲得している。自社マークの商標登録を進めるための商標制度や商標登録出願の手順についての相談をきっかけに、先行商標調査、識別力を高めるための考え方に関する支援を実施。事業展開を見据えた商標登録を完了し、その後さらに、ブランディングのためホームページやSNSを活用した販促ツール構築、売上・事業拡大の仕掛け等を、よろず支援拠点やブランド専門家と協働して行った。その結果、店の周知度や評判が高まり、「ミシュランガイド福岡・佐賀・長崎2019 特別版」に掲載されるほどの人気を獲得した。



石窯の様子



商標登録を行った自社ロゴ



ピッツェリア・ダ・ジーノ  
沖津代表



冷凍ピザ



自動販売機



キッチンカー

売上・利益も順調に拡大し、新店舗(2号店)を開店するとともに、新商品の冷凍ピザを県内の大型ショッピングセンター、総合スーパー、食品スーパー、コンビニエンスストアの他、自動販売機やキッチンカー、ネットショップで販売するなど事業拡大が進められている。

## 支援を受けて

イノベーションセンター内「よろず支援拠点」の紹介で、知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口) に相談したのがきっかけで商標登録に繋がりました。担当者の知財トータルサポーターからは、専門家の方に売上拡大やダジーノを周知してもらうための戦略など、ブランディング支援に尽力いただき、現在も熱心に店舗に通っていただいております。冷凍ピザ販売を始めた際、機材を何も持たない状態からのスタートでしたので、イノベーションセンターには補助金申請の際にもご協力いただきました。知財トータルサポーターさんをはじめ担当者の方は非常に話しやすく、こちらが忙しくしている時でも熱心に通っていただいていることで様々な面で助けてもらっています。

ピッツェリア・ダ・ジーノ 代表 沖津 健

## 15 成果事例 | 知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口)

# 登録商標を用いたブランディングでミシュランガイドに掲載されるほどの人気店に

Company

## ピッツェリア・ダ・ジーノ

<p>神野本店 〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東3丁目7-13 TEL: 0952-30-8955</p>	<p>白山店 〒840-0826 佐賀県佐賀市白山2丁目1-24 TEL: 0952-37-1923</p>
--	--

Lunch / 11:00~15:00 (L.O. 14:30)  
Dinner / 18:00~22:00 (L.O. 21:30)  
定休日 / 月曜日 ※営業時間・定休日は変更になる場合があります。



ピッツェリア・ダ・ジーノ 神野本店  
<https://pizzeria-da-gino.com>

知財支援課 (INPIT 知財総合支援窓口) TEL:0952-30-8191

## 佐賀県産業イノベーションセンター

---

ものづくり振興課

TEL:0952-34-4416

---

農村ビジネス振興課

TEL:0952-34-4418

---

ビジネス創生支援課（佐賀県よろず支援拠点）

TEL:0952-34-4422（TEL:0952-34-4433）

---

研究開発振興課

TEL:0952-34-4413

---

知財支援課（INPIT 知財総合支援窓口）

TEL:0952-30-8191



公益財団法人 佐賀県産業振興機構

## 佐賀県産業イノベーションセンター

〒849-0932

佐賀市鍋島町八戸満114

TEL:0952-34-4411(代) FAX:0952-34-4412(代)

受付時間8:30~17:15(土日祝日・年末年始を除く)

<https://infosaga.or.jp>

